

GAAA – Gewaltfreie Aktion Atomwaffen Abschaffen (核兵器廃絶のための暴力なきアクション)のご紹介

GAAA は、世界中の核兵器廃絶を目的とする、ドイツの団体です。1996 年、包括的核実験禁止条約が、世界 158 ヶ国の圧倒的多数により採択されたのち、GAAA は、前身の “Atomteststoppkampagne (核実験禁止カンパニー)” から新たに独立、組織されました。私たち GAAA の設立目的のひとつは、核兵器を持つ国々に、国際法と包括的核実験禁止条約に明記されている、核兵器廃絶に向けた交渉を開始するという義務を守らせるために、それらの国々を監視することです。

1996 年に提出された国際司法裁判所 (ICJ) の意見書には、核兵器の非合法性が明記されており、私たちの信条であるところの、核兵器に対する暴力なき抵抗運動の義務が謳われています。私たちは、ドイツのビュッヘル (Büchel) の軍事基地上、及び軍事基地際での、市民による不服従運動を組織し、また、集会や我が団体の刊行物を通し、ドイツ連邦共和国内のアメリカ核爆弾の存在を公衆に知らしめてきました。

例えば、アメリカ政府は、50 個以上の核爆弾がある、ドイツ連邦共和国内 2 箇所の核の拠点、ラムシュタイン (Ramstein) とビュッヘルを含む、ヨーロッパの 7 つの国々に、B-61 核弾頭を設置しました。ビュッヘルでは、ドイツ兵たちが、核爆弾投下のための飛行訓練をしています。さらに、軍事拠点シュパングダーレム (Spangdahlem) には、持ち込まれた劣化ウランを撃込むための A-10 サンダーボルトジェット機が、米軍部隊と共に設置されています。12 の視察チームが、過去 2、3 年の間に “ICJ 市民法廷執行吏” として、これらの軍事拠点への立ち入りを果たしました。彼らは勾留されましたが、国内法よりも優位に立つ、国際法の有効性を問う目的で、その勾留を受け入れました。その何週間かに及ぶ短い勾留期間を、より多くの人間の注意をこの違法の状況に引き付けるために、彼らは利用したのです。

2004 年夏、GAAA の会員たちは、ビュッヘルの戦闘爆撃航空第 33 部隊の連邦国防軍兵士たちに、命令の拒絶を促す、「国際法及び憲法に反する核分担保持への、あらゆる関与を拒否せよ」と記されたビラを撒きました。ビラ撒きに協力した GAAA 会員もまた、1~2 ヶ月に及ぶ勾留と、40~45 日分の日当にあたる罰金という、重い処罰を受けました。

GAAA は、公的機関に対して注意を呼びかけると共に、その国に据え置かれた核兵器の存在に、市民の注意を促そうとする、世界中の団体 – 例えば、For Mother Earth (ベルギー)、Friedensaktie (オランダ)、Lakenheath Actiongroup (イギリス)、Nukewatch (アメリカ) – と、ドイツ国内の多くの団体とを繋ぎます。

GAAA は、小型核弾頭 (ミニ・ニュークス) のような、核兵器の新開発にも抗議すると共に、ウラン兵器一般、及び宇宙兵器といった主題の下でも闘っています。

私たちの運動の成果として、ぜひ注目していただきたいものを、以下に枚挙させていただきます。

- 1996 年以降、ドイツ国内の核兵器の存在を、市民に知らしめてきたこと
- 1999 年、ハーグ平和市民会議直後に行われた、ICJ からブリュッセル・NATO 本部への、国際平和行進の企画に協力し、行進に参加したこと。また、NATO の役員たちに、本部会議に於いて、核軍備縮小のための交渉即刻開始と、核兵器の先制使用権の放棄を約束することを要求したこと
- 2000 年夏、地域の活動家たちとの継続的共同作業が実り、広島、長崎の原爆記念日にちなみ、基地の町ビュッヘルで、新たな NGO の設立を導いたこと
- 2001 年 9 月 30 日、核兵器に反対するヨーロッパ・アクション・デーに因み、裁判所に対する抗

議運動を企画したこと。(これは、万全の準備で臨んだ市民視察団が、著名人を伴い、軍事基地ビュッヘルギワで展開するはずであった運動で、裁判所に、国際法にかんがみでの深い考慮を求める要求をつきつけようとしたものでしたが、ほとんどすべてのアクションは、9.11 後、厳戒体制に入った警察の取締りにより、残念ながら妨害されました。ドイツの官公庁は、私たちの事務所を捜索し、コンピューターは押収されました。しかしながら、ドイツの多くの平和運動団体から支援を受け、復活することができました。)

—2003 年夏、核の設置された軍事基地、ラムシュタイン、シュパングダーレム、及びビュッヘル間での、平和デモ（自転車ツアー）と、同地での催し物の企画、実施。(催し物“平和の夏”は、パーシング・ミサイル配備に反対し、1983 年に築かれた、“ムートウランゲン (Mutlangen) ・バリケード” *の成功 20 周年を記念するバリケード作りにて、『反戦の日』の 9 月 1 日、その幕を閉じました。)

*ムートウランゲン・バリケード… 冷戦時代の 1979 年 12 月、NATO は、「1983 年までに、旧ソ連が中距離ミサイルを廃棄しない場合には、旧西ドイツ及び西ヨーロッパの国々に、パーシング・ミサイルを配備する」という決議を行い、旧ソ連との軍事交渉を開始しました。82 年 12 月から翌年暮れに亘り、旧西ドイツでは、パーシング・ミサイル配備に反対する市民たちが、米軍指令本部のあるシュトゥットガルトをはじめ、各米軍基地際で、バリケード（人垣）を築いての抵抗運動を展開しました。なかでも、83 年 9 月、ムートウランゲンの米軍基地際に築かれたバリケードは最大規模のもので、数多くの著名人を含む市民たちは、3 日間に亘り同米軍基地を包囲し続けました。11 月、旧西ドイツ連邦政府は、市民の抵抗をも顧みず、パーシング・ミサイルの配備を承認しましたが、抵抗運動は配備後もおさまることなく続き、1987 年 12 月、運動はついに、到達距離 500~5,000km 以内のすべての中距離核ミサイルを破棄するという、ゴルバチョフ書記長とレーガン大統領の間での条約を成立させるに至りました。

—2003 年 10 月、ハンブルクにおける国際核兵器会議の企画、開催（インターネット・サイト、www.uraniumweaponsconference.deをご覧ください。)

GAAA の事務所は、シュトゥットガルト (Stuttgart) 【代表者: ローランド・ブラッハ (Roland Blach)、メール・アドレス: gaaa@paritaet-bw.de】とハンブルク (Hamburg) 【代表者: マリオン・キューパー (Marion Küpker)、メール・アドレス: marion@motherearth.org】にあります。国際的活動は、ハンブルクの方で行われています。私たちは、出版社“プレッセヒュッテ・ムートウランゲン (Pressehütte Mutlangen)” と共に、年 4 回、私たちの活動に興味を持つ 1,600 人の読者と、13 を超える国々に送られる、“FreiRaum (フライラウム、意味:自由空間)” という雑誌を発行しています。雑誌 FreiRaum は、現在、私たちのウェブ・サイト、www.gaaa.org上に於いても公開されています。

GAAA の活動計画は、毎年 11 月に行われる集会に於いて、その翌年一年分が決定されます。その際、誰がどの活動を担当するか、という管轄についても話し合われます。2005 年には、以下のような活動が計画されています。

- 5 月、ニューヨークの国連で開催される、核不拡散条約 (NPT) を実行に移させるための会議への参加 (担当者のみ)
- 上記会議に際しての、メルヘンの語り手、Hans-Jörg Ostermayer 氏を交えての公演旅行
- 5 月末 ~ 6 月初旬、イスラエルの学者、Mordechai Vanunu 氏を交えての講演旅行 (Mordechai Vanunu 氏は、イスラエル国内で核兵器が製造されている場所を、世界に知らしめました。)
- 8 月、広島、長崎の原爆投下 60 周年に際してのイベント、“10 万本の蠟燭の夜” の、ドイツで

の開催

ー広島、長崎、原爆投下 60 周年記念式典への参加（担当者のみ）

GAAA は、ノン・プロフィット・オルガニゼーションです。活動資金はすべて、皆様からの寄付と補助金で賄われております。

寄付金のお振り込み先:

ドイツ国外からのお振り込みには、以下の口座名をご明記下さい。

口座名義人: GAAA Gerhard Daiber 金融記機関名: GLS Gemeinschaftsbank

外国口座番号 IBAN: DE57430609678019151200

お振り込み用紙の通信欄には、“Atomwaffen” または “Uranwaffen” とご記入下さい。

《核兵器に関する関連サイト》

日本語: <http://www.nodu-hiroshima.org/index.html>

<http://www.gensuikin.org/data/hurukawa.html>

<http://mext-atm.jst.go.jp/>

<http://www.netlaputa.ne.jp/~kitsch/atomic/atomic.htm>

<http://homepage1.nifty.com/koarashi/genbaku/genbaku-5.htm>

<http://www.normanet.ne.jp/~hourei/oth010R/h090606oth010.htm>

<http://www.jca.apc.org/stopUSwar/>

英語: www.nukewatch.com

www.worldtribunal.org/Events/Hiroshima.htm

www.uraniumweaponsconference.de

www.traprockpeace.org